

斐伊川・神戸川流域環境マップづくり 2025年報告書

学校名・施設名等 出雲市立須佐小学校

担当者名 川上 嘉晃

対象河川名 須佐川・神戸川 実施時期 春

*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

取り組み状況（河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について）

〔参加学年等〕 第4学年 〔参加者数〕 春調査 14人

【実施日①】2025. 6. 27（金） <天候>晴れ

<河川名>須佐川 <調査場所>須佐小学校前

<気温>28℃ <水温>21℃

<透明度>50~55cm <COD>2~20mg/L

<pH>7.0~7.5 <水のおい>なし

<一番多かった指標生物>カワゲラ類 7

カワニナ類 5、ヒラタドロムシ類 3、コオニヤンマ 2、

ナガレトビケラ類 3、オオシマトビケラ類 1、コガタシマトビケラ類 1

<水辺の様子>2日前に雨が降ったことより、普段より水量が増え、濁っていたように感じる。

【実施日②】2025. 7. 1（火） <天候>晴れ

<河川名>神戸川 <調査場所>旧窪田小学校前

<気温>29℃ <水温>23℃

<透明度>100cm <COD>2~8mg/L <pH>未実施

<一番多かった指標生物>ヒラタカゲロウ類 24

カワゲラ類 20、ナガレトビケラ類 3、ヒラタドロムシ類 3、

カワニナ類 4、コオニヤンマ 2、ナミウズムシ 1、ヘビトンボ 1

<水辺の様子>

川底を保護するためにコンクリートで固められているところもあるが、外来植物の水草も見られる。



子どもや教師・地域等の感想（子どもの反応や反省点、要望等）

- 川の中には、たくさんの小さな生き物がいて、びっくりした。
- 川の流れは急だったのに、どうして流されないのか不思議に感じました。
- 指標生物を数えるのが大変だった。
- 似ている生き物がたくさんおり、しっぽの数で違う生物なのが勉強になった。
→写真だけでは似ている、生物の判断は難しいように感じました。特徴が書かれているものがあると良いと感じました。
- 実験で、しょうゆを一滴垂らただけで水質が一気に悪くなり、びっくりしました。
- 須佐川と神戸川のどちらの川もきれいな水だったけど、ゴミが落ちていた。きれいな川を守っていきたいと思いました。

斐伊川・神戸川流域環境マップづくり 2025年報告書

学校名・施設名等 出雲市立多伎小学校

担当者名 橋添 修弥

対象河川名 宮本川 実施時期 春

*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

取り組み状況 (河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について)

〔参加学年等〕 4年生 〔参加者数〕 春調査 25人

【夏調査】2025年7月2日(水)〈天気〉晴れ〈気温〉28℃〈水温〉19℃

〈一番多かった指標生物〉ヒラタカゲロウ 20

〈水のきれい度〉きれいな水 (透視度は100cm以上)

〈その他の生物〉カワゲラ類 15、ヨコエビ類 8、
サワガニ 2、ヘビトンボ 1、ナミウズムシ 1、
チラカゲロウ 3、タニガワカゲロウ類 4 など
多数

〈PH〉6.5 〈COD〉4.8

〈川幅〉5m



子どもや教師・地域等の感想 (子どもの反応や反省点、要望等)

- 夏
- ・宮本川の水がきれいによかったです。魚も住めるきれいな川で安心しました。
 - ・水質階級Ⅰで見られる水生生物がたくさんいてびっくりしました。
 - ・調査の結果は、水質階級Ⅰだったけど、きたない水に住む水生生物もいたから、これからはきれいな水が流れる川にしたいなと思いました。
 - ・目に見えなかったけど、ほんとはたくさんの生き物が川の中には住んでいることにびっくりしました。もっとほかの川でも調べてみたいです。

○昨年度のこともあり、天候に関して心配だったが無事実施できた。説明を聞く際の場所が狭く、足場も人によって不安定なことが気にかかる。

斐伊川・神戸川流域環境マップづくり 2025年報告書

学校名・施設名等 出雲西高等学校インターアクトクラブ

担当者名 顧問 新田 篤生

対象河川名 神戸川 実施時期 夏・秋

*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

取り組み状況（河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について）

〔参加学年等〕 高校1・2年生 〔参加者数〕 夏調査 11人・秋調査 10人

【夏の調査】 2025.7.19（土） 〈天気〉曇 〈気温〉32.0℃ 〈水温〉28.0℃

〈一番多かった指標生物〉ヒラタカゲロウ類6 〈水のきれい度〉きれいな水
〈その他の生物〉カワゲラ類4・コオニヤンマ4、ナミウズムシ2、ヘビトンボ1、
タニガワカゲロウ42、カワムツ22、ヌマエビ11、ヒゲナガカワトビケラ10、コカゲロウ・キイロカワカゲロウ・サナエトンボ5、チラカゲロウ4、ニンギョウトビケラ3、ギギ2、ヨシノボリ・モクズガニ・トビケラ類1



〈水辺の様子〉雨が降って数日後の調査だったため、普段よりも水かさが増して、少し濁っているように感じた。また、水の流れも少し速く感じた。

(COD パックテスト 5mg/L、pH7、透視度調査 測定値 100cm 以上)

【秋の調査】 2025.9.13（土） 〈天気〉曇 〈気温〉27.1℃ 〈水温〉25.0℃

〈一番多かった指標生物〉カワニナ類11 〈水のきれい度〉きれいな水
〈その他の生物〉カワゲラ類10、ヤマトビケラ類1・ヒラタドROMシ類1、タニガワカゲロウ22、コカゲロウ7、サナエトンボ5、ナミヒラタカゲロウ3、マジジミ2、キイロカワカゲロウ・カワムツ・コヤマトンボ・アメンボ・ヨシノボリ1



〈水辺の様子〉7月の調査と同様に、雨が降った後の調査だったため、普段よりも水かさが増して、少し濁っているように感じた。

(COD パックテスト 4mg/L、pH7、透視度調査 測定値 100cm 以上)

子どもや教師・地域等の感想（子どもの反応や反省点、要望等）

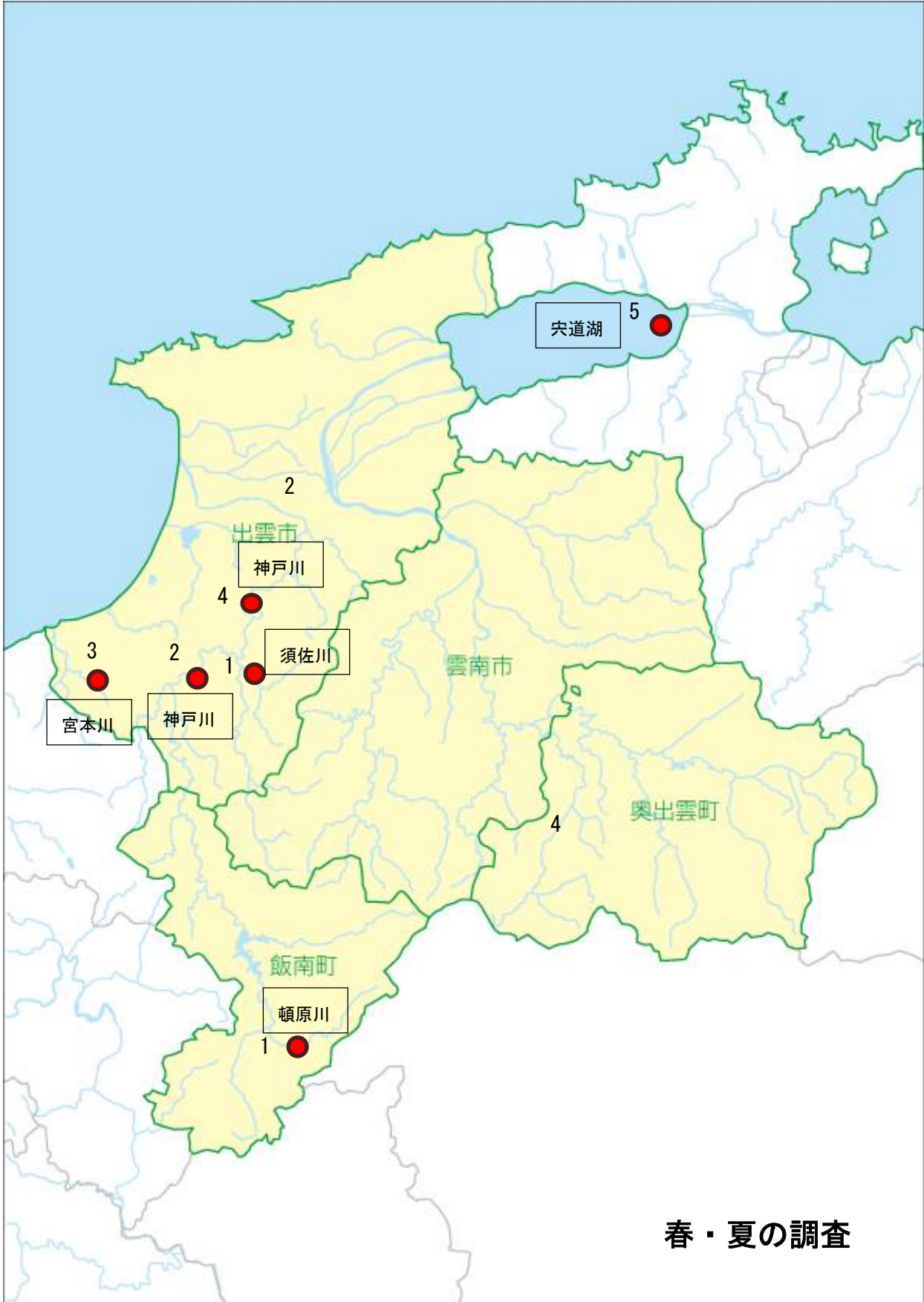
夏 ○今回の調査からきれいな水であることが分かったが、人が軽い気持ちで捨てた飲み物等のゴミが積み重なれば川は汚染されてしまうと思った。これからは周囲の人への声掛けや環境問題についての理解を自主的に深めることで、きれいな神戸川を維持するために役立ちたいと思った。

○調査をする前はやや汚い水だと思っていたけれど、透視度調査や COD パックテスト、水生生物調査をしてみると、きれいな水だということが分かり安心した。次回の調査も参加したい。

秋 ○透視度調査や COD パックテストは、大雨等があることによって調査結果が大きく変わることがあるが、水生生物調査は、そこに住む生物は環境が保たれていれば変化することは少ないため、より正確な結果が得られることが分かった。

○石の下を見ると、網ではすくえなかったとても細かい水生生物を見ることができた。調査をすることで、川の状況を直接感じることもできたのでとても良かった。

2025年 春・夏の調査地点



春・夏の調査

2025年 春・夏の調査ポイント一覧 夏の調査は7月11日から8月31日としています。

No	学校名	河川名	調査ポイント	月日 天気	気温・水温 参加人数	感想
1	出雲市立 須佐小学校	須佐川	須佐小学校 前	6月27日 晴れ	気温28度 水温20度 4年生14人	○川の中には、たくさんの小さな生き物がいて、びっくりした。○川の流れは急だったのに、どうして流されないのか不思議に感じました。○指標生物を数えるのが大変だった。 ○実験で、しょうゆを一滴垂らただけで水質が一気に悪くなり、びっくりしました。
2	出雲市立 須佐小学校	神戸川	旧窪田小学 校前	7月1日 晴れ	気温29度 水温23度 4年生14人	○似ている生き物がたくさんおり、しっぽの数で違う生物なのが勉強になった。 →写真だけでは似ている、生物の判断は難しいように感じました。特徴が書かれているものもあると良いと感じました。 ○須佐川と神戸川のどちらの川もきれいな水だったけど、ゴミが落ちていた。きれいな川を守っていきたくと思いました。
3	出雲市立 多伎小学校	宮本川	田儀櫻井家 たたら跡	7月2日 晴れ	気温28度 水温19度 4年生25人	○宮本川の水がきれいでよかったです。魚も住めるきれいな川で安心しました。○水質階級Ⅰで見られる水生生物がたくさんいてびっくりしました。○調査の結果は、水質階級Ⅰだったけど、きたない水に住む水生生物もいたから、これからもきれいな水が流れる川にしたいと思いました。○目に見えなかったけど、ほんとはたくさんの生き物が川の中には住んでいることにびっくりしました。もっとほかの川でも調べてみたいです。
4	出雲西高校 インターアクトクラブ	神戸川	わかあゆの 里	7月19日 くもり	気温32度 水温28度 高校1・2年生11人	○今回の調査からきれいな水であることが分かったが、人が軽い気持ちで捨てた飲み物等のゴミが積み重なれば川は汚染されてしまうと思った。これからは周囲の人への声掛けや環境問題についての理解を自主的に深めることで、きれいな神戸川を維持するために役立ちたいと思った。 ○調査をする前はやや汚い水だと思っていたけれど、透視度調査やCODパケットテスト、水生生物調査をしてみると、きれいな水だということが分かり安心した。次回の調査も参加したい。
5	しまね体験活 動支援セン ター事務局	宍道湖	嫁が島付近	8月3日 晴れ	気温35度 水温30度 4～6年生と 中学生11人	○宍道湖の水はヤマトシジミが多かったので、ややきれいだとわかった。(小5)○ゴミをすてないように、宍道湖の水を大切にしたい。(小5)○きれいな水質のままたくさんの生物が生きている湖になってほしいと思いました。(小6) ○宍道湖全体を知ってもらうため、宍道湖クイズを最初に参加者の宍道湖への理解が深まった。○島根県環境保健公社の適切な指導で、シジミの浄化実験や底生動物の分類・観察など子ども達に喜んでもらえる内容だった。○宍道湖の汚れの原因は、流入河川からの生活排水が7割を占めることなどを認識した子どももいたので、ペットボトル飲料のCOD検査と併せて環境教育として成果があった。

春・夏の調査ポイント一覧【生物・ゴミ・水質】 夏の調査は7月11日から8月31日としています。

No	学校名	一番多かった指標生物	水のきれい 度	魚、水草、鳥、その他 水辺で見かけた生物	水辺の様子	川の中のゴミ、 河原のゴミ	釣った魚	pH	COD mg/L
1	出雲市立 須佐小学校	カワゲラ類	ややきれいな 水 きれいな水	カワゲラ類7、ナガレトビケラ類3、オオシ マトビケラ類1、カワニナ類5、コオニヤン マ2、コガタシマトビケラ類1、ヒラタド ロムシ類3、その他タニガワカゲロウ類7、ヒゲ ナガカワトビケラ類3、チラカゲロウ1、ド ロガニ2	2日前に雨が降ったことより、普段より 水量が増え、濁っていたように感じる。 (透視度50～55cm) 水のおいなし		なし	7～7.5	2～20
2	出雲市立 須佐小学校	ヒラタカゲロ ウ類	きれいな水	ヒラタカゲロウ類24、カワゲラ類20、ナガ レトビケラ類3、ナミウズモシ1、ヘビトンボ 1、カワニナ類4、コオニヤンマ2、ヒラタド ロムシ類3	川底を保護するためにコンクリートで 固められているところもあるが、外来植 物の水草も見られる。 (透視度100cm)		なし	—	2～8
3	出雲市立 多伎小学校	ヒラタカゲロ ウ類	きれいな水	ヒラタカゲロウ類20、カワゲラ類15、ヨコエ ビ類8、サワガニ2、ヘビトンボ1、ナミウズ ムシ1、チラカゲロウ3、タニガワカゲロウ 類4など多数	川幅5m (透視度100cm以上)		なし	6.5	4.8
4	出雲西高校 インターアクトクラブ	ヒラタカゲロ ウ類	きれいな水	ヒラタカゲロウ類6、カワゲラ類4、ナミウ ズムシ2、ヘビトンボ1、コオニヤンマ4、タ ニガワカゲロウ類42、ヒゲナガカワトビケ ラ類10、チラカゲロウ4、ニンギョウトビケ ラ類3、その他カワムツ22、ヌマエビ11、コカ ゲロウ・キイロカワカゲロウ、サナエトンボ 5、ギギ2、ヨシノボリ、モクズガニ、トビケ ラ類1	雨が降って数日後の調査だったため、 普段よりも水かさが増して、少し 濁っているように感じた。また、水の流 れも少し速く感じた。 (透視度100cm以上)		なし	7	5
5	しまね体験活動 支援センター事 務局	ヤマトシジミ	ややきれいな水	ヤマトシジミ92、ニッポンドロソコエビ1 ユスリカ類、(貝類)カワグチツボ、(甲殻 類)ヤマトスピオ	(透視度90cm)	湖面には多くの藻やゴミが 見られた。	なし	—	5

2025年 秋の調査地点



2025 年秋の調査ポイント一覧

No	学校名	河川名	調査ポイント	月日 天気	気温・水温 参加人数	感想
1	飯南町立 赤名小学校	神戸川	わかあゆの 里	10月10日 晴れ	気温 25 度 水温 19.1 度 3・4 年生 16 人	○神戸川には、たくさんの生き物が住んでいることが分かった。 ○小さい生き物が多かった。 ＜講師の先生＞岩崎知久先生
2	飯南町立 赤名小学校	神戸川	源流女亀山	10月14日 曇り	気温 18.8 度 水温 11.5 度 3・4 年生 16 人	○水を飲んでみると、普通の水道水と全く違い、とてもおいしかった。○川の中には小さな生き物がたくさんいることがわかった。○サワガニやサンショウウオを見つけることができてうれしかった。○指標生物を数えるのが大変だった。 ＜講師の先生＞門真一郎先生
3	飯南町立 志々小学校	神戸川	上流部 学校前	10月10日 晴れ	気温 28 度 水温 23 度 3・4 年生 2 人	○今日初めて神戸川の調査をして、水生生物によって調べる方法、透視度計を使って調べる方法、COD パッケージで調べる方法で、水のきれいさを調べることができて良かったです。。川の中に入り、水生生物を捕まえたり、川の状況を直接感じたりすることができた。COD パッケージや、透視度計による水質調査も行い、神戸川の水のきれいさを多角的に考えることができ、児童から神戸川の水のきれいさを守りたいという思いが生まれていた。
4	出雲市立 神戸川小学校	神戸川	わかあゆの 里	10月23日 晴れ	気温 18 度 水温 16 度 4 年生 104 人	○たくさんの生き物がいてすごかったです。パッケージで緑色が出てきたのでこんなに汚いんだと思いました。記録もちゃんとできたので良かったです。あと、いろいろな調査ができてよかったです。住んでいる生き物で川のきれいさが、分かるなんて初めて知りました。。POD パッケージでとてもきたないじゃなくてよかったです。でもそんな神戸川でもむぎ茶や飲みかけのスポーツドリンクなどを入れると、汚くなって汚さ最大になるのがわかりました。川には目に見えない、米粒より小さな生き物があるのでびっくりしました。みんなが使っている川なので、キレイにしてごみを入れないようにしようと思いました。
5	出雲市立 遥堪小学校	高浜川	大水門付近	10月15日 晴れ	気温 20 度 水温 19 度 4 年生 16 人	○見た目は濁っているように見えたけど、バケツで水をすくと、結構透明な水であった。川底が茶色いと思った。COD パッケージや pH パッケージでも、わりときれいな数値であり、予想と違っていた。 ○護岸工事でコンクリートに囲まれている川だけど、思ったより生物がたくさんいた。○高浜川は、北山から流れてくる水が集まってくるので、きれいな水だと思った。 ○高浜川は、指標生物やパッケージの結果から、ややきれいな水だという結果が出たけど、これを維持していくために、地域の人たちで川がごみを捨てたり、汚水を流したりしないことを実践していかないといけないと思った。
6	出雲西高校 インターアクトクラブ	神戸川	わかあゆの 里	9月13日 曇り	気温 27.1 度 水温 25.0 度 高校 1・2 年生 10 人	○透視度調査や COD パッケージは、大雨等があることによって調査結果が大きく変わることがあるが、水生生物調査は、そこに住む生物は環境が保たれていれば変化することは少ないため、より正確な結果が得られることが分かった。 ○石の下を見ると、網ではすくえなかったとても細かい水生生物を見ることができた。調査をすることで、川の状況を直接感じることができたのでとても良かった。

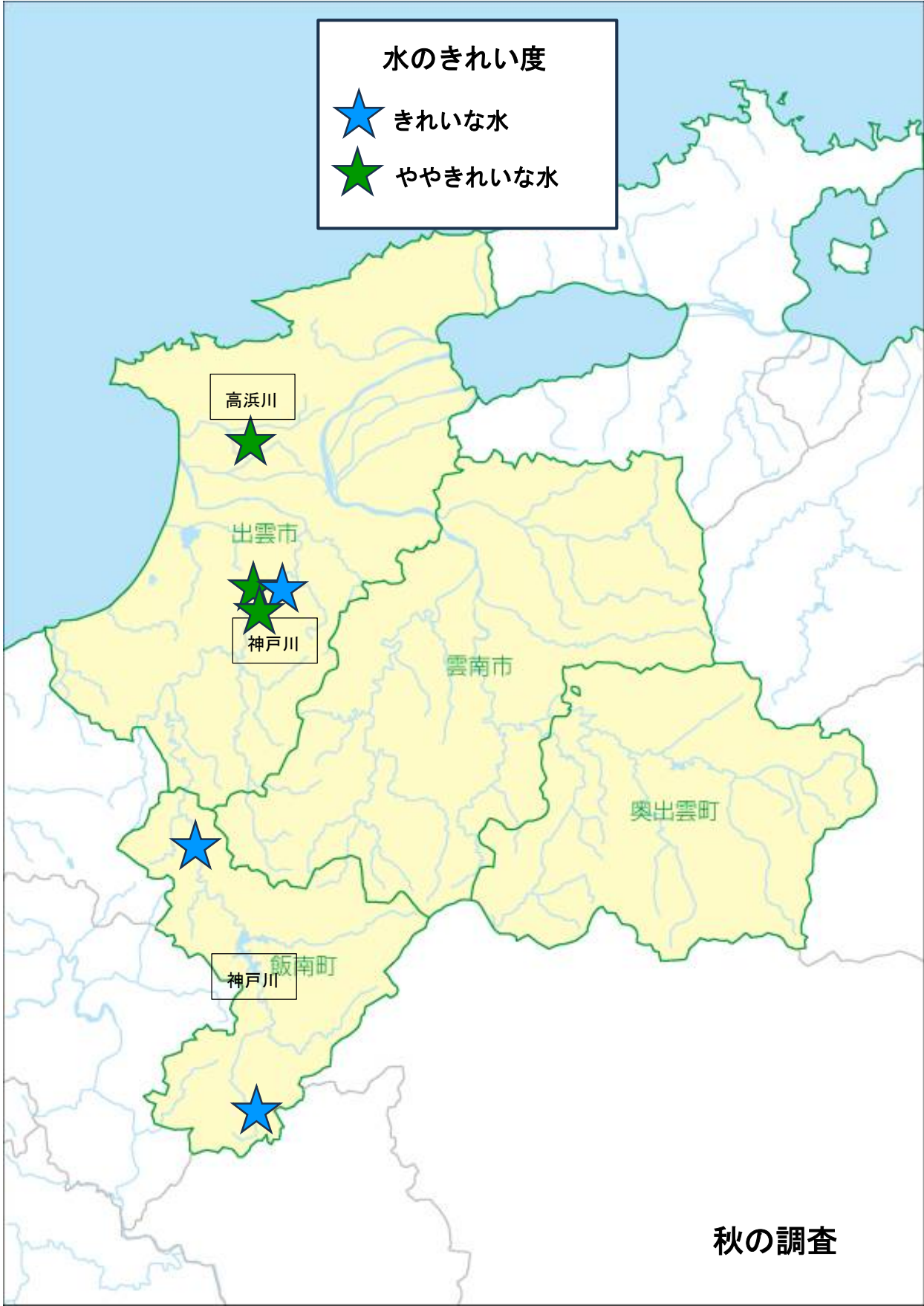
秋の調査ポイント一覧【生物・ゴミ・水質】

No	学校名	一番多かった指標生物	水のきれい 度	魚、水草、鳥、その他 水辺で見かけた生物	水辺の様子	川の中のゴミ、 河原のゴミ	釣った魚	pH	COD mg/L
1	飯南町立 赤名小学校	カワゲラ類	ややきれいな水	カワゲラ類10、ヒラタカゲロウ類10、ヒラタドROMシ7、コオニヤンマ3、カワニナ類5、その他ドロエビ3、ダビドサナエ1	1週間前に大雨が降り、その影響からか普段よりも若干水量が増え、濁っていたように感じる。		なし	7	5~10
2	飯南町立 赤名小学校	ヨコエビ類	きれいな水	ヨコエビ類30、サワガニ15、カワゲラ類4、ヘビトンボ2、ナミウズムシ2、その他サンショウウオ3	水深はとても浅く、澄んだ水が流れている。		なし	7	0
3	飯南町立 志々小学校	ヒラタカゲロウ類	きれいな水	ヒラタカゲロウ類6、ヒラタドROMシ4、ヒロアタマナガレトビケラ1、カワニナ5、ヒル1、タニガワカゲロウ3	草が生い茂っていた。		なし	7	13
4	出雲市立 神戸川小学 校	ヒラタドROMシ類	ややきれいな水	ヒラタドROMシ類29、カワゲラ類17、サワガニ5、ヒラタカゲロウ類9、カワニナ類5、コオニヤンマ3、タニシ類21	川原は石がたくさんあった。川が曲がっている場所のため、少し先は水深が深く流れも速かった。一方、川原近くは、水が滞留していた。		なし		2
5	出雲市立 遥堪小学校	ヨコエビ類	ややきれいな水	ヨコエビ類、カワニナ、ブユ、サワガニ	○護岸は整備されているが、川底には小石が堆積していた。○川の流れは普段通り、緩やかだった。○川縁には草が茂っていた。○川底には水草が生えていた。		なし	7	5
6	出雲西高校 インターアクトクラブ	カワニナ類	きれいな水	カワニナ類11、カワゲラ類10、ヤマトビケラ類1、ヒラタドROMシ1、タニガワカゲロウ類22の他、コカゲロウ7、サナエトンボ5、ナミヒラタカゲロウ3、マシジミ2、キイロカワカゲロウ、カワムツ、コヤマトンボ、アメンボ、ヨシノボリ1	7月の調査と同様に、雨が降った後の調査だったため、普段よりも水かさが増して、少し濁っているように感じた。 (透視度100cm以上)		なし	7	4

総合分析マップ（水のきれい度 春・夏）



総合分析マップ（水のきれい度 秋）



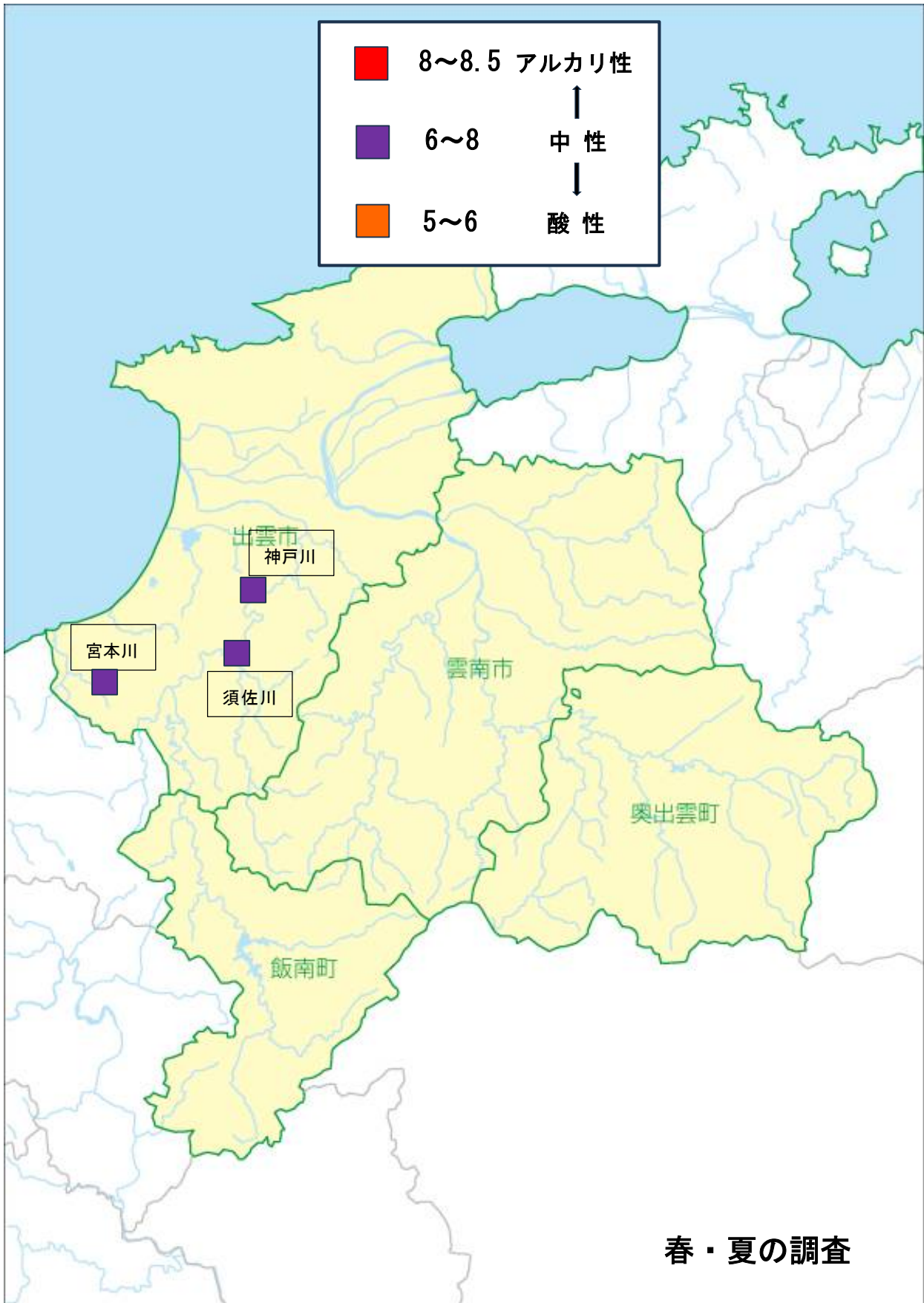
1 番多い指標生物 (春・夏)



1 番多い指標生物 (秋)



PH (春・夏)



PH (秋)

